2024 年 11 月 14 日
サステナビリティ基準委員会
GRI グローバル・サステナビリティ基準審議会

サステナビリティ基準委員会（SSBJ）の代表者と GRI グローバル・サステナビリティ基準審議会（GSSB）の代表者が東京で最初の二者間会合を開催

サステナビリティ基準委員会（SSBJ）の代表者と、GRI グローバル・サステナビリティ基準審議会（GSSB）の代表者は、2024 年 11 月 14 日に、東京で最初の二者間会合を開催しました。

この会合において、SSBJ と GSSB の代表者は、それぞれの活動の最新情報を提供するとともに、企業報告環境における最近の動向等について議論を行いました。

SSBJ と GSSB は、引き続き、意見交換を続けていく予定です。

川西安喜 SSBJ 委員長は次のように述べています。
「SSBJ を代表し、GRI の GSSB 代表者の皆様を東京にお迎えできたことを非常に嬉しく思います。会合では、よりよい企業報告に向けた我々のコミットメントを確認し、その結果、覚書に署名することができました。今後何年間も、GRI とのこの生産的な関係を続けていくことを期待しています。」

キャロル・アダムス GSSB 議長は次のように述べています。
「SSBJ を通じて日本の皆様に歓迎いただき、嬉しく思います。GRI スタンダードにより、経済、環境及び人々に対する組織の最も重大なインパクトを報告することができるようになりましたが、これにより、企業がそのインパクト、リスク及び機会を評価し、幅広い利害関係者に向けてより包括的なサステナビリティ情報を提供するうえで、どのように支援することができるかについて、ともに探求を続けていくことを期待しています。」

サステナビリティ基準委員会（SSBJ）について

サステナビリティ基準委員会（SSBJ）は、2022 年 7 月に FASF の下に設立されたプライベート・セクターの機関です。サステナビリティ開示基準の法的枠組みは金融庁が決定することとなっており、SSBJ はその枠組みが設定された後に、その枠組みに沿って国内基準を開発することとなります。SSBJ は、国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）の法域別ワーキング・グループ（JWG）のメンバーであり、サステナビリティ基準アドバイザリー・フォーラム（SSAF）の初期メンバーの 1 つに選任されています。SSBJ に関する詳細な情報は、ウェブサイト（https://www.ssb-j.jp/jp/）をご参照ください。

グローバル・レポーティング・イニシアティブ（GRI）及びグローバル・サステナビリティ基準審議会（GSSB）について（https://www.globalreporting.org/）

グローバル・レポーティング・イニシアティブ（GRI）は、環境、社会及び経済のインパクトに関して評価及び報告し、管理し、行動を起こすための世界的な共通言語を構築する、独立した非営利組織です。GRI は、すべての規模の組織が、持続可能で、長期的な価値を創造し、世界におけるポジティブな変化をもたらすことを可能にするための基準、ツール及び研修を提供します。

グローバル・サステナビリティ基準審議会（GSSB）は、世界で広く用いられるサステナビリティ報告のための基準「GRI スタンダード」を設定する唯一の責任を有し、GRI のガバナンス下にある独立した主体です。GSSB メンバーは、サステナビリティ報告に関する幅広い専門性及びマルチ・ステークホルダーの視点を代表しています。GSSB は GRI のビジョン及びミッションに従い、もっぱら公益のため活動しています。